

◎障害者(児)一時預かり事業

介護者の疾病やその他の理由により、居宅において介護を受けることが困難となった知的障害者(児)を八潮市社会福祉協議会「身体障害者センターやすらぎ」を利用し、日中一時的にお預かりするものです。この事業は市が「八潮市手をつなぐ親の会」に委託して行います。

☑毎週土曜日(祝日・年末年始および施設の管理上実施できない日を除く)

☑市内に住所を有する6歳以上の療育手帳を交付された知的障害者(児)で、利用登録を済ませた方

☑社会福祉協議会「身体障害者センターやすらぎ」別館(鶴ヶ曾根414-4)

利用方法

市児童障害課で利用登録を行い、利用者登録証の交付を受けます。利用を希望する日を「八潮市手をつなぐ親の会」(☎090-8504-8487)へ直接連絡し予約します。利用単位は午前9時から午後1時までと午後1時から午後5時までの1日2単位となります。

☑1単位あたり2,000円(食事代等は実費負担)

ふれあい福祉コーナー

障害者(児)福祉事業



◎八潮市「家族のつどい」

統合失調症などの精神障害を抱えるご家族が、病気や対応について他のご家族と情報交換をし、家族同士の親睦を深めることで互いに支え合う場です。日々の思いを話してみませんか。どうぞ、お気軽にご参加ください。

☑5月12日・6月2日・7月7日・8月4日・9月1日・10月6日(毎回水曜日)、午後2時~午後4時

☑保健センター

☑無料

☑申し込みは不要です。開催時間に直接会場へお越しください。

☑☎児童障害課障害福祉係 ☎453・428

わんぱるで絵本の読み聞かせ



4月22日、だいら児童館「わんぱる」で、乳幼児と親を対象に「絵本とおはなし会」が行われました。

これは、子どもたちが活字文化に親しめるように、(財)出版文化産業振興財団と新聞販売店の主催で行われたもので、読書アドバイザーの天野さんを講師に迎え、30組の親子が熱心に聞き入っていました。

悪霊・悪疫を退散！蛇ねじり



鶴ヶ曾根の久伊豆神社で、4月20日、市指定無形民俗文化財の「蛇ねじり」が行われました。

この伝統行事は、かつてのムラの入口に全長6メートルほどの藁蛇(ワラヘビ)を祀り、悪霊や悪疫が入り込まないことを願うもので、「辻切り(ツジキリ)」とも呼ばれています。

「やしお健康ラジオ体操連盟」がスタート！



4月11日、市民一人ひとりが健康で豊かな生活を送れる、「日本一健康なまち八潮」を目指して「やしお健康ラジオ体操連盟」が設立されました。

設立総会の会場となった大原中学校の体育館では、集まった市民の皆さんが「みんなの体操」や「ラジオ体操」で心地良い汗を流していました。

印象派画家の名画にうっとり



資料館では、収蔵している学校絵画を市民の方に鑑賞していただくこと、3月25日から4月10日までレプリカ展「名画を観る」を開催しました。

印象派画家として著名なゴッホ、ルノアールなどの作品(複製)17点を展示し、訪れた方は複製ながらも名画の素晴らしさにうっとりしていました。

いきいき やしお写真館